

事後評価結果

課題管理番号 : 17ek0109124h0003
研究開発課題名 : 慢性活動性 EB ウイルス感染症とその類縁疾患の診断・治療効果評価の向上を目指した EB ウイルス DNA 量のエビデンスの構築
研究代表機関名 : 国立大学法人名古屋大学
研究開発代表者名 : 伊藤嘉規

評価委員会のコメント :

○評価できる点、推進すべき点、研究事業にとって必要である理由

CAEBV は我が国に多い難治性病態であるが、EBV DNA 定量が標準化されていないのがネックであった。これを標準化して診療ガイドラインに反映させようとする試みは評価される。
EBVDNA 量測定の国際標準化ができたこと。
稀少疾患のサンプルや臨床情報収集のための体制構築。
新しい EB ウイルス DNA を検体別に基準化して測定できる。

○疑問点、改善すべき点、その他助言等

成果が具体的に示されておらず、研究成果の詳細を知ることができない。稀少疾患であるにもかかわらずレジストリも構築されていない。EBV DNA 定量の WHO 検討委員会がすでにできているようなので、診療ガイドラインは今回の結果をまとめてから作成予定とあるが、現在得られているエビデンスをもとにした診療ガイドラインを作成するのが先決ではなからうか？
研究計画通りに進んでいない項目が多い。
測定法の実際の臨床への応用を急いでほしい。
研究成果が乏しく、進捗が遅れており、新規エビデンスの創出が未達成である。
測定系がいつ作動するのか明記されていない。

以上